

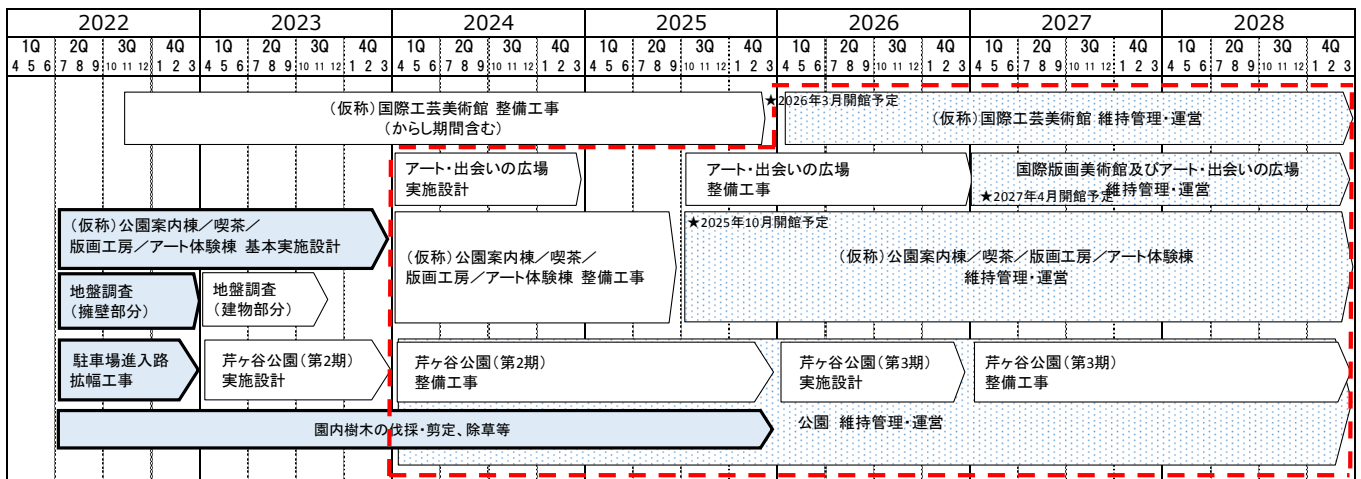
## 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業に係る官民連携検討について

### 1 官民連携検討の背景

- 人口減少や人口構成の変化、価値観の多様化など、社会構造が大きく変化していく中、行政経営においても、これまでも増して新たな発想で多様な公共サービスを展開していくことが求められています。事業者などの様々な担い手と共にまちづくりに取り組むことで、これまでにない新たな価値を生み出し、市民一人ひとりのニーズに適したサービスを提供していくことが、これからの行政経営にとって大切なことであると考えます。
- 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムは、「美術館」と「公園」等を一体的に運営することで、これまでにない新たな発想で新たな価値を生みだすことを目指しています。民間事業者の経験・技術力・ノウハウを活用することが有効な施設です。
- 地域住民や市民と一緒に美術館と公園を育てていくことが、地元からも愛され、来園者に愛される公園として非常に重要だと考えています。中長期的な視点で市民と一緒に美術館と公園を育てていけるような体制をつくるのが大切です。

### 2 官民連携による対象事業及び事業手法について

#### (1) 想定している対象事業範囲



## (2) 事業手法・事業費

これまでに実施した官民連携検討調査により、以下の通り、事業手法の有効性を確認しました。引き続き、事業者へのサウンディング調査等を通じ、内容を精査していきます。  
 <有効であると想定される事業手法>

### ・PFI※(BTO)

※施行・維持管理・運営を一括して発注し、民間事業者が資金調達して事業を進める方法

事業費試算【事業期間15年間】 (単位：円)		VFM※値
120.8億円 (従来方式による事業費：124.4億円)		
<b>設計・建設費</b>	<b>28.2億円</b>	3.6%
(主な内訳)		
・アート・出会いの広場整備	3.67億円	
・(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房・アート体験棟整備	6.5億円	
・芹ヶ谷公園整備	14.7億円	
<b>維持管理・運営費</b>	<b>92.6億円</b>	
(主な内訳)		
・(仮称)国際工芸美術館	8.6億円	
・国際版画美術館	18.7億円	
・アート・出会いの広場	8.4億円	
・(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟	15.3億円	
・芹ヶ谷公園	1.8億円	

※VFM (Value For Money)

市の支払(マネー)に対して最も高い価値(バリュー)のサービスを提供することができる事業手法かを算定できる指標のこと。現在価値換算後の数値で計算しており、事業費には町田市職員が実施する展覧会事業費等は含まれていません。

## 3 事業者の選定方法・手続き等について

### ○事業者との対話等

事業者が参入しやすい条件やアイデア・考えを収集するため「実施方針」や「要求水準書(案)」を公表し、事業者と対話等により意見を募りながら検討を進めていきます。

### ○性能発注に対する事業提案

市から要求するサービス水準を性能として示し、事業者が具体化して提案する「性能発注」により民間事業者の知見・技術力を最大限に活用した事業を実施します。

### ○公募型プロポーザル

市の要求に応えつつ、事業者の提案を総合的に評価する「公募型プロポーザル方式」による事業者の選定を予定しています。

## 4 事業スケジュールについて

2022年11月	サウンディング調査(実施方針・要求水準書(案)等公表)
2023年4月	実施方針・要求水準書の公表及び事業者公募開始
2023年12月	事業者選定
2024年3月	事業者契約
2024年4月	芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアム 運営開始